



Challenge - Cyausubaru-channel

本年度4月に着任しました 校長 明松 美佳(あけまつ みか)です。学校通信「チャ・茶・チャ」にて、学校の「今」をお伝えします。さて、令和7年度は、全校児童40名、職員14名でのスタートとなりました。子供たちのために未来を見据えて行動を起こされた石井十次先生にならい、本年度は、「未来を見据えて一歩先行く人であれ。そのために、気づき・考え・行動する人であれ。」の方針を軸に、教育活動を展開してまいります。

「ワクワクする学校 ～学びって楽しい！～」 「選ばれる学校～やっぱり茶臼原！～」を目指して、保護者の皆様、地域の皆様方のお力もお借りしながら、職員一丸となって「進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成」を目指します。

4月7日

新任式・始業式

5名の先生方が茶臼原小学校に着任しました。児童代表の6年生が、茶臼原小学校は石井十次先生の理念に基づいて作られた学校であることを紹介しながら、歓迎の言葉を述べました。児童代表作文発表では、児童が、「6年生として整理整頓をしっかりと、漢字や計算の練習、歴史の勉強をがんばり、卒業まで最上級生として下級生のお手本になりたい」と発表しました。



4月23日

交通安全教室

西都警察署交通課職員と西都地区交通安全協会の指導員にお越しいただき交通安全教室を実施しました。道路の正しい横断や歩行の仕方や自転車の点検の仕方について説明していただきました。ビデオを視聴したり、正しい横断歩行の渡り方を体験したりして、交通安全に対する意識を高めました。最後に校長から『守って欲しいことは「命を大切にすること」、そして、今日の学習で気づいたことを考えて、行動してほしい』と伝えました。ご指導くださった皆様ありがとうございました。



4月26日

みどりの少年団 「鮎の稚魚放流」

一ツ瀬川水系濁水対策推進協議会の啓発活動の一環として行われた稚魚の放流を通して森林の役割を再認識したり、河川環境保全の意識を高めたりする活動に、「みどりの少年団(5・6年生)」が参加しました。バケツから鮎の稚魚をそっと水面に流すと、稚魚は元気いっぱい泳ぎ出していました。豊かな自然を守り続け、美しい郷土をつくることを目的の一つとして掲げている少年団の素晴らしい活動でした。

